

C-3 皮膚膿瘍と腎臓の外観比較 3 例

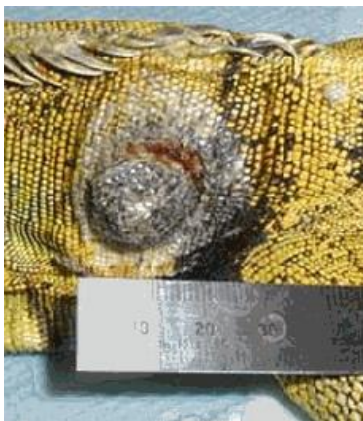
グリーンイグアナ ♀ *Iguana iguana* 【3 歳 8 ヶ月】

写真 1



3 歳 8 ヶ月

写真 2



体側部の膿瘍

写真 3



前肢の膿瘍

写真 4



尾部の膿瘍

写真以外にも全身に大小の膿瘍が多発していました。イグアナが免疫力を正常に働かせることのできるような適切な範囲の温度管理がなされず、さらに皮膚によく傷がつくような狭いケージで飼育されていたのではないかと考えられます。

写真 5

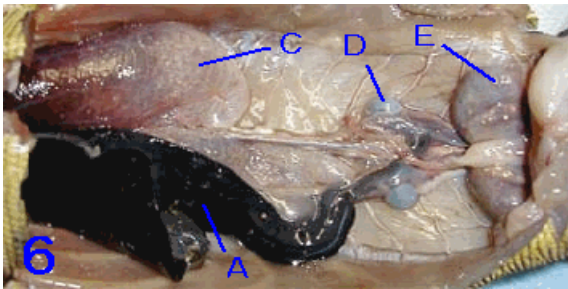


内臓腹側面

A：肝臓

B：腸管

写真 6



腸管を除去したあと。

A：肝臓

C：肺

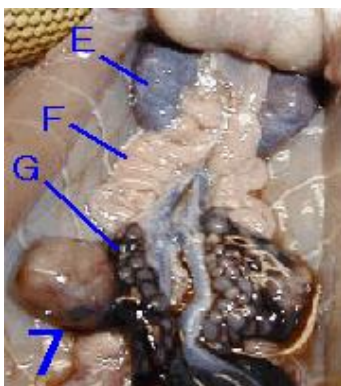
D：精巣（2つ）

E：腎臓（2つ）

腎臓の大きさにはその症例によってばらつきがあります。他の例を見てみましょう。

グリーンイグアナ ♀ *Iguana iguana* 【4歳3ヶ月 SVL80cm】

写真 7



この個体も皮膚膿瘍が多発していました。

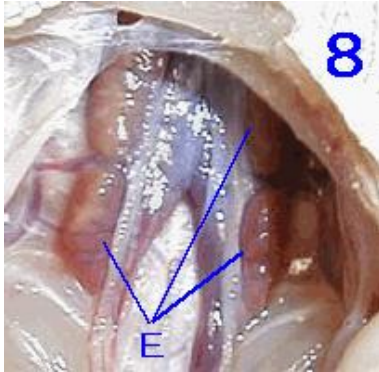
E：腎臓

F：卵管

G：卵巣（それぞれ左右に存在）

これは写真6と同じような腎臓外観です。

写真 8



E：腎臓

前出2例と比較すると、かなり小さく色もきれいです。色は関係ないにしろ、大きさはこちらが正常ではないかと思えます。